



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

みんなでやろう ロータリー

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013-2014 R.I.会長メッセージ

第1113回例会 2014年4月9日 No.1082号

■ 会長時間



副会長 古谷 幸一

皆様、今日は。本日も先々週に続き森川会長が所用の為欠席されましたので副会長の私が代行させていただきます。先週は夜桜見物を兼ねまして夜間例会を開催させていただきました。とてもタイミングの良い日だったと思います。残念だったのは、我々のクラブから寄贈させて頂いた桜の木が切り取られて居ました。誠に残念です。寄贈させて頂いた気持ちが無に成ってしまった様な失望感で溜まりませんが、この様な暴挙にめげる事なく眈々と桜の木の寄贈を勧めて行くことが大切だと思います。今後共、皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げます。料理は大変美味しく頂きました。これで会長時間を終了させていただきます。

今回の例会(4月16日)

来賓卓話
広島バルト11
安藤 公一様

次回の例会(4月23日)

クラブフォーラム

出席報告

(吉田例会運営委員)

4月9日(水)出席者

会員総数	55名
出席会員	46名
欠席会員	9名
ご来賓	0名
ご来客	1名
ゲスト	0名

来客者紹介

4月9日(水)出席者

広島RC	1名
------	----

幹事報告(鈴木幹事)

■お知らせ

- ・新旧引継ぎクラブ協議会を5月21日(水)18:30～うを久にて行います。今年度と次年度の理事役員・委員長にはご案内を配布していますので、出欠の回答を事務局までお願いします。
- ・4月23日のクラブフォーラムについてのアンケートを配布しておりますので、お帰りの際、事務局までご提出をお願いいたします。
- ・5月17日(土)に開催されます「2014-2015年度地区研修・協議会」のご案内を出席義務者の方へ配布しております。ご回答下さいますようお願いいたします。

■BOX配布物

- ・ロータリーの友(4月号)
- ・ガバナー月信



.....: SMILE BOX

石川貴与和 会員

昨日、広島駅前にて「未成年者飲酒防止 飲酒運転撲滅キャンペーン」を致しました。多くのメディアにも来ていただいて放映された様です。皆様も御協力お願い致します。

武田龍雄 会員

4月1日から広島信用金庫八丁堀支店の10階で恒例の「日本画展」を開催しています。4月30日までですが、入場無料ですので是非お立ち寄り下さい。

当日計	20,000円	累計	792,000円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】森川 和彦 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】鈴木 大次郎 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

会 員 卓 話

若林 孝光 会員



こんにちは。株式会社SISINの若林孝光です。

本日は会員の卓話という事で、普段あまり人前で話す機会が少ない職業なので、このような、良い機会を与えて頂きありがとうございます。楽しい時間は早く過ぎるといいますが、この一年本当に充実し驚くほど早く過ぎました。入会のきっかけを頂いた紹介者の方は安土先生と長松先生です。入会月は5月です。来月の5月で、私がこの陵北ロータリークラブに入会させて頂き1年になります。入会のあいさつの時、今と同じくらい頭が真っ白になった事を思い出します。まず最初に、クラブの先輩方、この一年間あたたかい目で見守っていただき本当にありがとうございました。私は周りの同年代より早く社会に出て仕事をはじめました。そのため、専門の仕事のこと以外は、見聞が浅く、世間知らずな所がかなりあります。叱ってくれる先輩も少なく、上司もいません。当クラブの先輩方には憧れと尊敬の念を抱いています。今後は、どうか厳しく、やさしく、ご指導よろしくお願ひします。

本日の卓話ですが、何を話そうか、どんな話をしたらよいか、色々悩みました。なかなかうまく話がまとまりませんでした。まとまっていません。よく思い出したら、こんなに大勢の前で話すのは結婚式以来です。

先日、三村会員とお酒を飲む機会がありまして、そのとき少しお話したが、「私が寝る前によく行う行為」についてお話したいと思います。寝る前の行為と聞きますと、あんな事、こんな事、いろいろあります。数名の方が想像された夜の営みの話ではありません。私がそれを初めて体験したのは20歳の時です。何を初体験したかという、寝る前に意識的に、「なりたいた自分を想像して寝る。イメージして寝る」ということです。そんなことか！と思う方もいらっしゃるかもしれません。が、今の私があるのは、この体験と、この体験を教えてくれた一冊の本との出会いがきっかけだと思っています。ちなみに、最近、話題になりましたが、サッカーの本田選手も、小さい頃の夢を「世界のビッククラブで10番をつけてプレーする」と書き、なりたいた自分を想像しイメージし続けて、見事有言実行しました。

その本と出会ったのは2000年2月ぐらいです。今から14年前です。当時20歳で体重が今より20キロ以上軽く、髪もフサフサでかなりのイケメンで活発を通り越した元気な子でした。そんな私は1999年10月から2000年1月約3カ月間オーストラリアのシドニーを拠点に旅をしていました。人生のターニングポイントになった旅でした。話がそれるので、省略しますが、可愛い子には旅をさせると言いますが、本当に良い旅でした。その旅で貯金は使い果たし、日本に帰ってきまして、帰国後すぐに、まさかの全治2カ月の怪我をしました。理由は本当に活発を通りこして元気すぎたからです。

この怪我のおかげで、お金も仕事もない私は、困り、焦り、何か出来る事はないか？という思いで近所の、今はありませんが、白島九軒町にあった古本屋さんに行きました。ちなみに、当時の愛読書は、赤川次郎さんのミステリー作品でした。その古本屋さんで出会ったのが、私の人生を変えた「マーフィーの眠りながらに成功する」という本です。最初手にとって題名を読んだ時、えらい大胆な本だな。と思ったことを今でも覚えています。

簡単に本の紹介をさせて頂くと、「著者はジョセフ・マーフィーという精神法則に関する世界最高の講演者の一人で、神学、法学、哲学、などさまざまな博士号を持っている方です。世界各国で精神的に潜在意識の活用についての講演活動、執筆を行っているみたいです。」本の内容は、①潜在意識に願望を刷り込むことの大事さ。①強くイメージする事が大切。などが書かれています。潜在意識とは簡単にいえば無意識のことで何かを取りたいなどの行動は意識的で、逆にびっくりした時や、背中を押されたら、片足が出るみたいな行動が無意識的です。

少しネットから引用した文章を紹介します。

潜在意識と願望実現をどう結び付けたかという、それはつぎのような理論です。「潜在意識に自分の願望を刻みこめばそれは叶う」端的に言えばこのようなことです。例えば次のような表現があります。「自分が手にしたいものがあつた場合、それらはすでに自分のものになったとイメージしなさい。そうすればそれは必ずあなたのもとなります」というものです。このノウハウの有効性を示す逸話として、マーフィーは、次のような話をあげています。ある日女性がクリスマスイブの朝に高級ブランドショップで高価な靴を見つけました。そして、彼女はその靴をととも気に入りしました。そこで彼女はマーフィー理論に従い次のように思いました。「あの靴を私の物として受け入れましょう。そうすれば、後は潜在意識が取り計らってくれるでしょう」そうするとどうでしょう。その日の夜に、彼氏がその靴をプレゼントしてくれたというのです

会 員 卓 話

極端な例ですが、ざっくり言うと願えば叶うです。解りやすく、私なりに解釈したのが、タクシーに乗って、目的地を言えば、あとは運転手さんが、あの道、この道と、何通りもある道から最終的に目的地に連れて行ってくれます。大事なのは目的地をハッキリ明確にさせることです、この目的地が、自分の願望です。そしてタクシーの運転手が潜在意識です。A地点からB地点に行くのに何通りも、いろんな行きかたがあります。しっかり目的地だけ明確にしておけば、いつか着きます。

簡単にいえばこんな考え方です。話を戻しますが、当時の20歳の私には、衝撃的でした。試さない手はないと必死に毎日、少し成功した自分。幸せな自分をイメージしました。リラックス時にイメージするのが良いらしく、寝る前にα波が出るのでベストだと読み、私は寝る前に、想像していました。そんな、本と出合っただけで、軍隊並みに過酷な訪問販売の営業会社に入りました。この会社との出会いも、人生のターニングポイントでした。半端なくきつい、ガチガチの営業会社でした。同期入社30人で、3ヵ月後には2人でした。そんな会社で頑張れたのも、強くなった自分を、出世している自分を毎日イメージしていたからです。

当時印象に残っている体験談ですが、営業活動中に五日市のとあるマンションの駐車場にアメ車を発見しました。1972年式の白の車体で、中がコバルトブルー一色の旧車ザ・アメリカンな4ドアのダッチでした。エルビスプレスリーが乗ってそうな感じの、サイズは普通車ギリギリで、角ばったテールがなんとも言えませんでした。その車を見た瞬間、電気が走りました。一目ぼれをした私は、どうしてもその車が欲しく、その日から、毎日毎日、そのダッチに乗り、友達と遊ぶ姿、カッコつける自分を想像しました。リアリティーを出すために、近所のコンビニまでダッチで買い物に行き、会計する友達の財布の柄まで想像していました。本当に強くイメージしました。それから数ヵ月後、実際に私はその車に乗っていました。

こんな体験をして以来、私は疑う気持ちを捨て、事あるごとに、寝る前に、なりたい自分、欲しいものなど、数多くのことを強くイメージし、イメージする事を、大切にしてきました。そして今日までの人生を、常に思考は現実化する。なりたい自分になれる。と自分に言い聞かせ過ごしてきました。

この2ヵ月ぐらいいは、今日の卓話を無事終える場面を想像していました。良い悪いを除いて無事終えれそうです。今日からも、この先よりよい事業家、一社会人、ロータリアンとして成長できるように、なりたい自分を強くイメージし日々前進したいと思います。スピーチの締めめの落ちを作ることが出来ず、こんなに難しいとは思いませんでした。分りにくかったかも知れませんが、これが、「私が寝る前にする行為」の話でした。

最後になりますが、私は経験も浅い若輩者で、分不相応なことは私自身がよく承知しております。一つでも多くの事を皆様方より学びたいと入会させていただきました。今後ともよろしくご指導ご鞭撻いただきますようお願いし、簡単ですが、卓話の発表とさせていただきます。

井上 進 会員

昨年の12月に入会させて頂きました、井上 進です。

まだたった4ヶ月が経過したところですが、先輩方から聞ける話しや久しぶりの野球の試合での緊張感等々、入会しなければ知ることができなかつたことを知ることができ、また経験できなかったことを経験させて頂き、それも、ここにいらっしゃる先輩方々が築いてこられた歴史あつてのことですので、本当に感謝しております。今日は15分の卓話時間を頂きましたので、私の仕事と趣味を通じた自分の「夢」について話しをさせて頂きたいと思います。



私は現在、司法書士を仕事としております。司法書士と言えば登記、例えば会社の設立や役員の変更登記、或いは不動産の売買や抵当権の設定などがあります。この中で不動産の売買については、大きなお金が動くということで、結構ハラハラドキドキする場面があります。私が経験した案件をひとつご紹介しますと、あるラブホテルの売買なのですが、売買価格が約3億円、買主は売買代金の1部約1億円の融資を受けるという案件でした。買主Bさんは売買代金を支払う代わりに登記名義を取得する、逆に売主Aさんは売買代金を手にする代わりに登記名義をBに渡す、これを同時に行わないといけないわけですが、通常、Aさん・Bさん・

会 員 卓 話

Bさんに融資する銀行・司法書士が集まって、登記名義の変更書類が整っていることを司法書士が確認したところで、売買代金の支払いが行われます。(ホワイトボードで図示)ここで売主Aさんの登記名義の変更書類のひとつとして権利証が必要になるのですが、一般的な居住用不動産の場合、1不動産1権利証であることがほとんどであるところ、大きなビルの敷地などは、現地の土地は1枚でも登記上は数筆に分かれているケースがあって、取引は1物件だけでも権利証は何枚も必要になるということがあります。この案件では7~8枚の権利証が必要だったのですが、1枚なかったんです。現在の登記手続きでは、権利証が無くても司法書士が権利証の代替となる書類を即日作成できれば名義変更の登記申請は可能なのですが、当時は権利証が1つでも無かった場合、取引は延期せざるを得ない制度でした。売主Aさんは資金繰りに窮していて、この売買代金を取得して他の決済資金に回す予定で、取引が延期されると不渡りを出してしまう可能性があり、顔面蒼白、なんとか登記申請できないかということで、私もどこかに権利証が紛れてないか必死に探したのですが、どうしても見つからず、結局この案件は取引を延期しました。通常権利証が沢山必要な取引の場合、事前に確認に行くのですが、売主Aさんが「うちの知り合いの司法書士が確認してくれたから間違いなく全部あるよ。」という言葉信じてしまったことが招いた結果でした。その後、売主Aさんはなんとか資金調達をして不渡りは回避できたということだったのでまだよかったのですが、本当にハラハラしたのを覚えています。

一方で、買主Bさんは、ラブホテルの売買ということで一般の銀行では融資が受けられないので、ノンバンクから10%を超える高金利で資金調達していました。このラブホテルは昔からある老舗のラブホテルで、外観からは人が入るんだろうかと思えるような所で、よくこんな高金利なのに返済できるよなあと思っていたわけなんですけど、ところがどっこい、このラブホテルの稼働率を見ると驚くほど稼働率がよい状況でして、皆さん頑張ってるなあと感じたのを覚えています。

といったような登記の仕事、これが司法書士の主軸ではありますが、一方で登記以外の仕事もいろいろありまして、少額訴訟や債務整理、相続財産の管理や、成年後見などがあります。このうち成年後見については高齢化社会が進行する中で、司法書士が後見人に就任する件数が増加しています。

成年後見というのは、認知症などの症状で判断能力が衰えた高齢者の財産管理と身上監護を後見人が代理で行うものです。(ホワイトボードで図示)お金の価値がわからなくなるとか、金銭感覚そのものがないという本人の状況もあるのですが、悪質商法などの被害にあうことや子供が勝手にお金を遣うことを防止する意味もあります。司法書士は主に財産管理を行うのですが、報酬がなかなか頂けないような案件も多く、正直なところ事務所経営的にはとっても大変です。しかしながら、高齢者に心の安心を提供する奉仕の意味を含んだ大切な仕事だと思いますので、頑張っていきたいと思っています。

そして、私の趣味の話ですが、趣味のひとつにウエイトトレーニングがあります。自分が体を鍛えることが好きなのはもちろんですが、先ほどの成年後見の仕事をする中で、高齢者の健康維持、予防介護の大切さを実感するので、運動による健康維持を高齢者に勧めていきたいという思いがあります。成年後見の仕事が「心の安心」であれば、こちらは健康であり続けるという「体の安心」であると考えています。

ちょうど消費税が8%になったところです。政府によりますと増税分は医療費や介護サービス、高齢化社会における社会保障費に充てるということですが、ひとりひとりが死ぬまで健康であり続けられれば、広く財政の健全化に繋がると思っています。これからますます高齢化社会が進行する中で、皆が健康で元気に生活することができるように、「心の安心」と「体の安心」を提供することができる存在であるよう、チャレンジできる自分であることが私の夢です。これからも引き続きよろしくお願ひ致します。ちょうど時間がまいりました、聞いて頂いてありがとうございました。